

JAきたみらい

おきたま サタダ

2019



vol.201

10



はいっ ポーズ!

《訓子府地区・清住》

中根正登さんと真理奈さん

希心ちゃん・龍希くん

(紹介は2ページです)

特集

令和元年産食用馬鈴しょと
玉ねぎの需給動向



水稲の収穫

季節の薫り



すがすがしい程の秋晴れのなか、きたみらい管内で水稲の収穫が9月下旬から始まりました。

今年は、定植作業から順調で、春先以降も天候が良く生育も順調に推移し、平年並み以上の収穫時期となりました。色が変わり実を付けた稲はさわやかな風に吹かれ、揺れながら刈り取りを待っています。

黄金色に色づいた稲穂をコンバインが次々と収穫し、天候を気にしながら作業は急ピッチで行われています。

「きたゆきもち」は安定した生産量と確かな品質で実需者から評価されており、収穫されたものはこの後順次、乾燥・調整され全国へ出荷されます。

(大石 友和)



J Aきたみらいの水稲(もち米)の作付け面積は約700㊦。写真は9月26日相内地区東相内の鬼海英機さんのほ場で撮影。

もくじ CONTENTS

特集	令和元年産	食用馬鈴しょと玉ねぎの需給動向	550万人サポーターづくり	地産地消フェスタ2019	多くの来場者で賑わう	小学児童を対象に施設見学	JAきたみらいで延べ700人受け入れ	季節の薫り	表紙紹介	「誰にでも優しい子に育って」	地域だより	ほのぼのの広場	きたみらい青年部	記念の一枚	ブリティーウーマン	我が家のアイドル	JAからのお知らせ	おひさまサラダクッキング	「白身魚の揚げだし菊花あん」	「スペアリブの煮込み」
4			8	8	8	9	2	2	2	10	12	14	22	22	22	22	22	22	22	22

表紙紹介

誰にでも優しい子に育って

中根家を訪れると二人の姉弟が恥ずかしそうにお出迎えしてくれました。お姉ちゃんの希心ちゃん(4)は両親の影響で3歳からスキーを習い始め、今年は一人で滑れるよう練習するそうです。お世話好きの希心ちゃんは、弟の龍希くんのお世話を積極的に行う、しっかり者。幼稚園のお友達にビーズでネックレスやブレスレットを作ってはプレゼントする、優しい一面も見せてくれました。

弟の龍希くんは、お父さんの正登さんが乗るトラクターをよく見に来るほど乗り物好き。将来が楽しみです。取材中も自慢のアンパンマン号に乗った姿を見せてくれました。二人とも好き嫌いがなく、なんでも食べるそうで、特に弟の龍希くんはお肉が大好き。大人顔負けに焼肉を頬張って食べるそうです。

希心ちゃん、お父さんの影響からか将来はお花屋さんになりたいと教えてくれました。成長を見守るお父さんの正登さんは、「怪我や病気をしないで、明るく元気に姉弟仲良く育ってくれば」と二人の将来を楽しみに話してくれました。

(大石 友和)



【ご家族紹介】
左から～長女の希心ちゃん(4)、お母さんの真理奈さん(30)、長男の龍希くん(1)、お父さんの正登さん(30)
中根正登さんは、今年から訓子府町で新規就農され玉ねぎ、花苗を作付けしています。

特集

令和元年産

食用馬鈴しょと玉ねぎの需給動向

食用馬鈴しょ



全道生産動向

作付面積は減少し、依然として生食系品種（男しやく・メークイン）の減少が目立つ

道内の本年産馬鈴しょの作付面積は27,595畝となり、前年対比478畝減少、依然として、生食品種（男しやく・メークイン）中心に減少し、加工系品種（チップ用）にシフトしている傾向が続いております。

植付作業は、融雪が順調に進んだことで平年より早めの4月中旬に開始となり、5月連休前には50%の植付進捗、その後も天候に恵まれて平年同様の5月20日頃には概ね終了となりました。

植付後の生育は一時的に干ばつ傾

向となったものの6月以降からは適度な降雨もあり順調に推移しました。生育状況は茎長、茎数共に近年に無く良好であり、塊茎肥大やライマン価の低下に繋がる要素は少ない生育となりました。

7月後半より気象が一変し、気温も一気に上昇、30℃を上回る気温が8月上旬頃まで続き、一部の生食系品種において、茎葉の黄変が始まり倒伏を迎えるなど、塊茎肥大停滞の影響が心配されました。

馬鈴しょの収穫は、7月下旬より早出し前進栽培から順次開始され、その後も比較的好天に恵まれ順調に推移しました。生食品種（男しやく）の主要産地の作況は、俱知安地区、帯広地区、北見地区、全道総じて本年の気象経過が影響する平年作を大きく上回る作柄となり、近年の中では最も良好な生産状況であります。



実際の秋を迎え、収穫作業は概ね順調に進んでいるかと思われます。

馬鈴しょ・玉ねぎの選別作業が最盛期を迎え、本格的な販売に入りました。全道の生産動向、消費地情勢、販売対応などを巡る状況について、お知らせします。

需給の見通し

北海道産の売場定着を図り、拡販体制の構築により需給最適化に向けて取り組み

生食向けの販売状況については、府県産の関東近在産地が思った以上に切り上がり早く、市場在庫も少ない状況であり、梅雨前線の影響による降雨も続いた事で品痛みが発生する等、北海道産への切替促進意向への追い風を受けながらの販売展開となりました。

このような状況下、7月中下旬より北海道産馬鈴しょが出荷開始とな



馬鈴しょ消費拡大プロジェクトの継続活動

- 「じゃがい問題研究所」は、北海道産食用馬鈴しょの消費拡大に向けて、H24. 8月より全道馬鈴しょ取扱対策会議とホクレンにて設立し活動を開始。H26より「じゃがい問題研究所」新所長キャラクターに「いもろう所長」吉田たかよし氏を選定し活動を続けています。

【ホームページアドレス】
<http://www.Jagaimondai.jp>

主な活動

「じゃがい問題研究所」は北海道産馬鈴しょが本格的に収穫・流通し始めることに合わせて、8月4日を「北海道ばれいしょの日」とする記念日登録を、一般社団法人日本記念日協会認定されおりイベントを実施しています。

【ホームページアドレス】
<http://www.kinenbi.gr.jp>

- （※「北海道ばれいしょの日」は、馬（8）鈴（0）しよ（4）の語呂合わせが由来。）
- 「じゃがい問題研究所」の活動及び量販店需要喚起イベントの実施（新じゃが祭り・エバラコラボ・サッポロビールコラボ・じゃがフェイスじゃが祭り等）
- SNSでの情報発信 「じゃがログ（ポテサLOVEサイト）」
- レシピ動画作成 「Web発信」
- メディア媒体 広報通信サービスの展開と情報発信
- イベント活用PR（くるるの杜感謝祭、ファーマーズキッズフェス、産地イベント）
- 各業界とのコラボ（馬鈴しょの消費喚起に向けた検討）「チップ・サラダ・コロケ・調味料・飲料」



所長キャラクター
「いもろう所長」

需給最適化に向けた取進めを行っております。

チップの製品の売れ行きは、価格改定などにより売上消費は減少したものの、ポテト系スナック類の売り上げは拡大しており、平年並みの販売を維持しております。一方、コロケ・サラダ業態は、引き続き厳しい販売環境となっており、緩やかな状況が続いております。

今後のコロケ・サラダ系メーカーのユーザー動向としては、新たな商品企画やキャンペーン等、惣菜を中心に中食需要が伸長しておりますので、作柄を踏まえた規格振替などの円滑な受渡しに向けて取り進めて参ります。

玉ねぎ

全道生産動向



植付作業は、順調な融雪となったことから、概ね平年並みの定植作業の開始となり、天候に恵まれ作業は順調に進み、総じて平年並みから4日程度早く定植作業が終了しました。定植以降は早魃傾向で推移しましたが、地区によって降雨量は異なるものの適雨もあり、総じて例年にならない順調な生育で推移しました。しかしながら、7月下旬の高温、早魃と熱風により晩生種を中心に倒伏が進み玉肥大が抑制されたものの、平年作以上の収量が見込める豊作基調にあります。収穫作業は、8月中旬以降に断続的な降雨が続いたものの、9月以降順調に収穫が進み、現在圃場からの取上げは終了し、茎葉処理の作業が順調に進んでおります。

平年作以上見込む

消費地情勢

市場在庫が増加 荷動きは軟調

本年の府県産は、佐賀県産・淡路産ともに豊作基調であり、他産地について出荷量が多い状況下、市況は軟調に推移しました。7月に入り府



県産地もピークを過ぎ出荷量が減少したことで市況は持ち直した状況の中で、北海道産の出荷がスタートしました。
8月の販売は、佐賀県産・淡路産ともに豊作基調を背景に、8月の残量が両産地とも昨年を上回る状況の中で、府県産と北海道産の併売で推移し、益明け以降は、府県産の品質不安（腐敗の多発）から道産への売り場切替が進んだことに加え、8月下旬からは、学校給食需要も回復し、大玉の引合いが強い状況に転じました。
9月に入り、北海道フェア等の催事企画により、大中心に引き合いが高まり、規格発生比率に合わせた価格形成がされている状況で、大を中心に市況はやや強含みで推移しましたが、北海道産出荷量の増加を背景



に、複数の連休や台風による出荷物の延着絡みでの市場入荷の集中により、市場在庫が増加傾向で荷動きは軟調に推移しております。
R元年産現況の収量見込み及び今後の見通しを踏まえ、販売環境を鑑みながら中心期間の需給調整①輸出②消費地保管（短期）③消費地保管（長期）を講じ需給バランスの適正化を図って参ります。



きている状況にあります。
輸入品については、国産指定のないユーザーを中心に一定の使用状況となっておりますが、国産の潤沢な出回りを受けて、4～7月累計の輸入量は過去5ヶ年平均を下回る実績（87%）となっております。

2 中国産の動向

中国産は山東省が出荷終盤を迎えており9月より後続の甘粛省へ



輸入玉ねぎ情勢

北海道産引合い強く

1 加工業務用の動向

8月益までは府県産が潤沢にあり原料は十分に確保されていましたが、佐賀県産の原料が品質不良により出回りが減少したことから、一部淡路島内ユーザーを除き北海道産の引合いが徐々に強くなつて



3 USA産の動向

USA産は、日本向けの主力であるワシントン州の作付面積は前年並みが見込まれており、作柄についても順調に推移している模様。具体的な商談は例年通り、8月前半から開始され、10月より本格的に輸入が開始される見通しです。
（例年の契約価格60～65円/kg 浜値）



地産地消フェスタ2019

多くの来場者で賑わう

9月7日、地元の農林水産品の消費拡大や生産者と消費者との距離を縮め顔が見える関係づくりを目的として、「地産地消フェスタ」が10周年の節目を迎え、今年も開催されました。

当日は前日に降っていた雨も止み

天候に恵まれて、会場となった北見駅南多目的広場は家族連れの来場者が多く目立ち、大いに賑わいました。直売ブースでは、各地区の生産者らが地元の加工品や農産物の販売を行いました。新鮮な野菜を直接購入できるということもあり、ブースに

は行列ができていました。当JAは、オリジナル加工商品や小麦「きたほなみ」を使用したパンなどの販売を行い、中でも今年から新発売の「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」は来場者の注目を集めました。

写真説明

- ①開会式でのもちまきの様子
- ②配布前から行列のできる牛乳の無料配布
- ③④きたみらいブースでカレーやパンを販売



小学児童を対象に施設見学

～JAきたみらいで延べ700人受け入れ～

本年度も北見市の小学生を対象に農業生産施設の見学を受け入れています。

施設への受け入れは地域産業を学ぶ社会科総合学習の一環として、例年行っており、今年も9月から受け入れを開始し、10月末までに延べ7

00人の児童が当JA施設を見学する予定です。

今年度から相内地区に完成した新しい玉ねぎ集出荷施設で見学を行っており、9月12日には北見市立北光小学校の3学年88人が、同市相内地区における選果施設を訪問しました。

施設では玉ねぎの選果ラインをとり、箱詰めされるまでの工程を見学しました。

高く積まれた玉ねぎが入ったコンテナや、選別される様子を初めて見た児童たちからは「積むのが大変そう!!」や「機械の音がすごい!!」

といった声が挙がっていました。見学後は、質問の時間を取り、児童から思い思いに質問が飛び交うなど、活発な施設見学となりました。



▲施設を見学する前に注意事項を聞く児童たち



▲▼職員の説明を熱心に聞く児童たち



▲見学を終えた児童たちからのお手紙

温根湯地区では9月15日、「おんねゆマルシェ」が温根湯道の駅で開催されました。天候に恵まれたこともあり町内外から多くの人々が訪れました。

このイベントは、採れたて旬の野菜や地元食材の白花豆を使用したスイーツなどを味わってもらうことが目的で、るべし白花豆くらぶ主催の元、当JA他、地域の団体が協賛する一大イベントとして地域に根付いています。

当日は、白花豆をふんだんに使用したプリンやマドレーヌ、お豆のスープや焼きたてのパンが並び大盛況。旬の野菜コーナーでは枝豆やかぼちゃなど数種類の野菜が並んで、玉ねぎ詰め放題コーナーも設けられ、人気を呼びました。

るべし白花豆くらぶの森谷裕美会長は「地元の女性部の方に野菜を作ってもらっていたり、くらぶの仲間と協力することでだんだんと温根湯の行事として定着してきたように思う。協力してくれる全ての方に感謝したい。今回、農業女子プロジェクトとコラボしたユニフォームを揃えたことで更に一致団結し、モチベーションが上がる」と話してくれました。（大橋 弥生）



▲商品の魅力を伝える様子

西地域 温根湯 旬の美味しいもん大集合！

～おんねゆマルシェ～



▲カレーライスマラソンに参加した新入職員

東地域 端野 第34回たんのカレーライスマラソン

～採れたて地元食材を堪能～

9月15日、端野地区で「第34回たんのカレーライスマラソン」が開催されました。

このイベントは、1986年から開催されており当初は端野町民を対象としたものでしたが、今では全国各地から約200組のチームが参加するほどの大規模なイベントとなりました。順位やタイムを競うのではなく、カレーライスを作って楽しく食べること、そして端野町のすばらしさを広めることを目的として行われています。

競技は4人1組で、カレールー、肉、タマネギ・ニンジン、イモの各コースに分かれ、それぞれの食材を求めて走ります。ゴール後は、ゲットした地元食材でカレーライスを作り、共に汗を流した仲間たちとおしくいただくというユニークなマラソンです。

そのほかにも、仮装コンテストや大食い大会などいろいろな企画が盛りだくさんでした。

当日は当JAの新入職員も参加し、JAをPRしました！

（芋毛 鈴奈）



地

域

だ

よ

り



きたみらい管内では9月中旬頃からデントコーンの収穫作業がスタートしました。

留辺蘂地区で約110%作付けしている農事組合法人瑞穂では、9月14日から収穫作業が始まりました。収穫期を迎えたデントコーンは、フォレージャーバスタで勢いよく刈り取り破砕され、ダンプに積み込まれてサイロへと運ばれていきました。

作業は12日間かけて9月中に終了。天候などの影響もあり、例年10月に作業が終了していたので、今年はスムーズに作業が進みました。

今年度の作柄について、序盤の干ばつにより稈長が低くなるのが懸念されていましたが後半の降雨と高温によって急激に伸びました。その為、茎は細いですがコーンの実入りは良好で良質なデントコーンとなりました。

（菊池 光祐）

西地域 留辺蘂 例年よりスムーズに収穫作業進む

～デントコーン収穫～



▲順調に進むデントコーン収穫の様子

南地域 置戸 第34回もっと馬力だすべえ祭

～置戸の秋の味覚が満載～



▲雨をしのぎながら祭りを楽しむ来場者

置戸町で9月23日、「第34回もっと馬力だすべえ祭」が開催されました。

このイベントは地元の農畜産物や加工品を味わってもらうのが目的で、町内の企業や数多くの有志団体が協賛し、町の一大行事になっています。

JAきたみらいが出店した「篠原牛の販売コーナー」や「玉ねぎや馬鈴薯の袋詰め放題」には、雨が降っているにもかかわらず、販売開始1時間前から行列ができる盛況ぶりでした。

また、当JAの「篠原牛」や「コロッケ」、「やまべ塩焼き」など8種類のメニューをセットにした前売券「グルメパスポート」は人気を呼びました。来場者はかっぱを着たり傘を差しながら焼肉コーナーで肉や野菜を焼いて秋の味覚を堪能しました。

ステージでは「カレーうどんの早食い競争」や「お楽しみ抽選会」、「置戸山神太鼓」が行われ、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる催しで賑わいました。

町内から家族と一緒に参加した男の子は「雨が降っていたけどたくさん食べて楽しかった」と笑顔で答えてくれました。（菊池 光祐）

ほのぼの 広場

きたみらい 青年部



●趣味

水泳、読書

●農業を選んだ理由

祖父に就農を勧められ、伯父に後継者もいなく環境が整っていたこともあり就農を決意しました。

●農業にける思い

安全安心な農産物の生産を心掛け、農家戸数が減っているなか、長く営農出来るよう頑張りたいと思います。

●青年部の魅力

青年部は、同じ経営形態や年齢の近い仲間と仕事以外の話もできるなど、色々な場面で交流が図れるところに魅力を感じています。これからも色々な活動に参加し、人と人とのつながりを大事にしていきたいです。

今回はJAきたみらい青年部南支部の加藤拓馬さんに登場いただきました。
(大石 友和)

人と人とのつながりを大事 に、長く営農を続けたい

訓子府地区・福野

加藤 拓馬さん(30歳)

プリティ ウーマン



「フレミズのみなさんと 良い思い出をたくさん作りたい！」

温根湯地区・平里

福田 由佳理さん(35歳)

今回はフレッシュミズ西支部の福田副支部長に登場いただきました。
(大橋 弥生)

◆出身、結婚に至るまでは？

津別出身です。農家に嫁ぐまでは、美幌の食料加工品会社で働いていました。旦那さんとは合コンで知り合い、最初はお互い仲の良い友達でしたが、何度か友達グループで遊ぶ機会があり、ひととき素敵にみえた旦那さんとお付き合いをすることに！約1年間の交際期間中、綺麗な手や声にがっかり心を掴まれ結婚を決めました。今では5歳の長女と3歳の長男の4人で楽しく生活しています。

◆趣味は？

料理をするのが好きで、携帯でレシピを調べながら色々なジャンルの料理を作っています。ですが、子ども達はなかなか食べてくれません……。悩みどころです。何か良い対策があれば教えてください！

◆今後挑戦したいことは？

子育てが始まってからは外にでて遊ぶことが少なくなってしまったので、子育てが落ち着いたら友達と一緒に遊びに行きたいです！カラオケにも行きたい！

◆組織活動の魅力や今後の抱負は？

フレッシュミズ活動の最大の魅力は、農家の奥さん同士が唯一交流でき、学べる場であることです。西支部では例年夏期研修会で、料理講習会を行っています。普段なかなか顔を合わせることのできない会員さんとペアになって料理をし、会話をすることでとても息抜きになり育児などの情報交換もすることが出来ます。もちろん本部活動も同様に、各支部の会員さんと地域をまたぎ交流することが出来るのは、フレッシュミズ活動でしかできないことだと私は思います。

これからもフレッシュミズ活動に参加して、会員さんと良い思い出をたくさん作っていきたいと思います！

わが家のアイドル

幸せのおすそ分けをしてくれた、三姉妹!!



▲左から柚季奈ちゃん・瑚々奈ちゃん・依桜奈ちゃん

訓子府地区・北稜

南 柚季奈ちゃん(6歳)
いおな 依桜奈ちゃん(4歳)
ここな 瑚々奈ちゃん(1歳7ヶ月)

南家の長女、柚季奈ちゃんはマイペースなお姉さん気質の小学1年生。取材時も「飲み物どーぞ♪」と気配り上手。学校では自由帳にお絵かきをするのが好きで、最近は体育の授業で後転ができるようになったと嬉しそうなお様子。

次女の依桜奈ちゃんは、姉妹の中でもずば抜けて負けず嫌い!!通っている保育所では友達と走り回るのが好きで、「これからも遊ぶのを頑張るの☆」ととても活発なお様子。

三女の瑚々奈ちゃんは、物怖じしない性格の可愛らしいイタズラっ子です。言葉も少しずつ発するようになり、お姉ちゃん2人ともっと遊びたい〜!と心の声が溢れていました。元気いっぱい三姉妹はケンカもしますが、アニメを見る際はソファに仲良く座り、お菓子も仲良く分けあひっこ!その様子をみてお母さんは、「健康で元気いっぱいな素直な子に成長してほしい。ケンカはほどほどに……」と話してくれました。

最後に一言どうぞと聞くと、口をそろえて「パパママ大好き〜!」と幸せのおすそ分けしてくれた南家の三姉妹でした☆

柚季奈ちゃん・依桜奈ちゃん・瑚々奈ちゃんは南祐司さん・香代さん夫妻のお子さんです。
(大橋 弥生)

記念の一枚



▲前列の一番右側が福田さんです

ラグビーを メジャースポーツに!

～試合後、お互いの健闘をたたえ合う～

端野地区・一区

福田 浩一さん
(55歳)



ラグビーを始めたきっかけは、美幌農業高校の体育の授業で、100mを12秒で走ったところ、ラグビー部の顧問の目に留まり、先生の猛アタックと熱意に負け入部を決めました。

夏休みには、一週間の自衛隊合宿が行われとても辛かったですが、試合に勝った時はみんなで一緒にワイワイ喜びを分かち合ったことや、ノーサイドになった時、対戦相手とお互いをたたえ合い試合を終えた事を思い出します。

高校を卒業後、27歳まで美幌ラグビーに所属し、主に11番左ウイングで試合に出ていました。

農作業が終わってから美幌で猛練習した結果、北海道ラグビーフットボール選手権大会で美幌ラグビーが最高のAブロックを勝ち取ったことは自分でも誇りに思います。

日本でラグビーワールドカップが開催されていますが、是非、屈強な男達がぶつかり合う迫力に興味をもって、ラグビーをメジャースポーツにと、思っています。
(辻本 均)

お問い合わせは
24-2145
生活相談員まで

相談員だより ◆ 秋号 第11号 ◆

◆ 疲れ目 ◆ ～放っておくと全身の不調の原因に～

☆こまめなケアで全身の不調を防ぐ
1～2晩よく眠ればだいたい回復する
かすみ目や充血は『疲れ目』の症状。
疲れ目を放置すると、目を動かす筋肉の
硬直が全身の筋肉に伝わり
血行不良による肩こりや
頭痛、吐き気のほかに軽い
うつ症状にまで進行する
ケースもあります。
目の疲れを引き金にして起こ
る様々な不調を眼精疲労といいます。



☆こんな症状に注意しましょう
・目が疲れていると感じる
・目が乾いていると感じる
・物が見えにくくなってきた
・目やにがでる
・目がかすむ
・視力が低下してきた
・肩が凝りやすい
※このような目からの注意信号に気を付け、
目を使い過ぎないようにしましょう。



☆目の健康維持のために～眼の疲れを改善しましょう～

- 現代の生活は、近いものを見ることが多く、常に目の筋肉を緊張
させています。緊張を取るためにも目を休ませることが大切です。
- ・1日6～7時間はしっかりと睡眠をとみましょう。
 - ・夜間のスマホは控えましょう。
 - ・血行改善には温め、充血改善には冷やすようにしましょう。
 - ・目の汚れを洗い、症状にあった目薬をさしましょう。
- ※目の健康状態をチェックするために、眼科で定期的に検診を受けましょう。



世界で活躍する 協同組合

毎年7月の第1土曜日は国際協同組合デーです。協同組合の起源は、産業革命後の労働者の厳しい生活を打開するため、1844年、英国のロッヂデールという町で、労働者が自ら出資して協同組合を設立し、小さな店を始めたことにあります。協同組合は各地に広がり、1895年に国際組織、国際協同組合同盟(ICA)ができました。世界110ヶ国から311組織が加盟し(2019年4月現在)、世界の10億人を超える組合員を代表しています。

国連は2012年を国際協同組合年とし、16年には国連教育科学文化機関(ユネスコ)が、「協同組合の思想と実践」を無形文化遺産に登録しました。協同組合が「さまざまな社会問題への創意工夫あふれる解決策を編み出している」と評価したためです。

JAも「農業協同組合」として、協同組合間の連携を取りながら、より良い社会づくりに向けた取り組みを進めています。

世界の協同組合

1844年	ロッヂデール公正先製者組合設立(英国)	日本の出来事	1843年	二宮尊徳が農民・武士の相互扶助組織「報徳社」を設立
1862年	ライファイゼンにより「農村信用組合」設立(ドイツ)		1900年	「産業組合法」施行
1895年	国際協同組合同盟(ICA)設立		1947年	「農業協同組合法」施行
2012年	国際協同組合年			「農協」の誕生
2016年	「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録			

協同組合間連携の事例

地元JA 全農県本部 食料提供 → 生協運営の子ども食堂 → 高校生 学習支援 プランテア → 組合員調理ボランティア → 耕そう、大地と地域の未来。

【協同組合間連携】

(きょうどうくみあいかんれんけい)

地域の課題解決のため、多様な協同組合が力を合わせて対応します。日本でも、地域、都道府県、全国、それぞれの段階で様々な連携が行われてきました。全国段階では、JA、生協、漁協、森林組合、ワーカーズコープ、労働金庫などの全国組織が「日本協同組合連絡協議会(JJC)」に集い、連携を進めてきました。JJCの取り組みを引き継ぎ、協同組合がさらに連携を強め、地域で果たす役割・可能性を広げていくため、18年に「日本協同組合連携機構(JCA)」が発足しました。

JA北海道中央会



あれから1年。



あれから1年
ありがとうございます! 頑張っています!
左のQRコードの読み取り、またはURLを入力してください。
<http://ja-dosanko.jp/tv/cm.php>

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から1年が経ち、その間、JAグループ北海道に対して全国の皆様より、多大なるご支援をいただきました。そのご支援に対するお礼として、9月6日の朝日新聞と農業新聞に感謝広告並びに動画メッセージを掲載いたしました。私たちJAグループ北海道は今後も、被災された組合員・組合員家族を支援して参ります。皆様方からのご支援、本当にありがとうございました。



北海道胆振東部地震に際しまして、日本全国からたくさんの応援や募金を頂きました。深く御礼申し上げます。 JAグループ北海道

JA北海道信連



9月5、6日、東京都内で開催された商談会「インフォメーションバザール」に特別協力し、道内14JAとともに出展、道内の農畜産物や加工品を紹介しました。

今年はJA出展エリアの一角に「窓口」を設置しナビゲーター役が各JAのブースを案内したほか、バイヤーズガイド「なまらうまい! JA」を配布し、JAや特産品のPRに工夫を凝らし、より多くの人に道産の魅力を伝えました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、大規模な災害が起きた時の備えとして、災害時に利用できる「非常用給水タンク10リットル」10万個を全道JA配布いたします。

飲料水や生活用水等の確保に利用することが可能で、9月上旬から配布し、災害への備えの意識向上を呼びかけます。

JA共済連は、組合員・地域住民の安全・安心に貢献できる活動にこれからも取り組んでいきます。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は、8月25日に開催された「北海道マラソン2019」の前日と前々日に、会場となる大通公園にて北海道産のもち米を使った「赤飯おこわ」を無料配布しました。マラソンでは、グリコーゲンなどが豊富な食物により体内にエネルギー源をため込むことが推奨されていることから、例年に続きこの取り組みを実施。

特設会場で「エナジーブース」という看板を掲げ、もち米が有効であることをアピールしました。



JA北海道厚生連



7月26日(金)岡山県で開催された「第60回日本人間ドック学会」の中で、全国の4施設が人間ドック健診施設機能評価優秀賞に選出され、その1施設として旭川厚生病院が表彰されました。今般、平成30年度に人間ドック健診施設機能評価を受審した施設を対象に選考が行われ、「健診当日に健診結果を説明している」「専門スタッフが保健指導を実施している」「精密検査や治療が必要な受診者に対するフォローアップが適切である」が評価され、人間ドック健診施設機能評価優秀賞に選ばれました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

INFORMATION



▲玉ねぎの説明をする加藤副会長
(撮影：HBC提供)



▲玉ねぎを観察するあぐりっこ
(撮影：HBC提供)

“あぐり王国北海道NEXT”が取材

～国内生産量の20%を占める北見地方の生産プロセスを撮影～

JAグループ北海道が提供するテレビ番組「あぐり王国北海道NEXT」（HBC北海道放送）の収録が9月14日に行われました。

ロケでは日本一の産地である玉ねぎの収穫体験を、きたみらい玉葱振興会加藤副会長の圃場で行った様子や、今年6月に完成した国内最大級の選果場の作業風景、フレッシュミズが調理した料理の試食などが収録されました。

放送は10月19日（土）午後5時からになります。是非ご覧ください。



▲玉ねぎの収穫作業をする出演者と加藤副会長
(撮影：HBC提供)



▲挨拶を述べる西川組合長(左)と石倉副社長(右)



▲料理を囲んで交流する参加者のみなさん

老舗洋食店 つばめグリル

～生産者とシェフが交流～

当JAと東京の老舗洋食店「つばめグリル」は8月29日、センター事務所に生産者とシェフの交流会を開催しました。

生産者やJA役職員、関係者など約100人が参加し、当JAの農産物をふんだんに使った料理を味わい、シェフらと食材に関する情報交換などを行いました。

つばめグリルの看板メニュー、ハンブルグステーキの付け合わせとして、当JA産の馬鈴しょを使用していることをきっかけに交流会を行うようになりました。

開催にあたり西川孝範組合長は「きたみらいの農産物を活かした料理を作っていたいただき大変うれし」と歓迎の言葉を述べました。

料理には当JA産の農産物のほか、(株)丸サチ松永水産（佐呂間町）から提供された海産物などを使用し、「ビーフカレーつばめ風&ライス」「縞海老とワタリガニのオマールソース スパゲッティ」など14品が振舞われました。

つばめグリルの石倉知忠副社長は「生産者の声を直接聞くことができる貴重な機会で、毎年開催できていることをうれしく思う。また、いつも品質の良い食材を生産して頂き感謝している」と話し、生産組織役員や女性部役員などと料理を囲んで交流しました。



▲日頃の推進活動についてスピーチをする森部職員



▲自動車共済の部で表彰を受ける佐藤職員

きたみらいから 5名が表彰

JA共済連北海道は、「令和元年度全道LA・スマサパ大会」を札幌市の共済ホールで開催しました。

平成30年度に素晴らしい活躍をみせたライフアドバイザーとスマイルサポーターを表彰し、当JAからは5名が表彰を受けました。

◆顕彰者職員

顕彰部門	職員氏名	所属部門
広域推進の部（Dクラス）	菅原 人志	金融共済部 本店総合渉外課
広域推進の部（Dクラス）	長瀬 正志	金融共済部 本店総合渉外課
ひと保障の部（がん共済分野第1位）	武田 麻里	金融共済部 本店総合渉外課
自動車共済の部（J2クラス第2位）	森部 梓	金融共済部 温根湯支店
自動車共済の部（J3クラス第2位）	佐藤 弥生	金融共済部 訓子府支店



▲玉ねぎの選別作業を行う熊谷職員



▲馬鈴しょの選別作業を行う金子職員

新採用職員19人が 秋の農家実習

当JAの今年度の新採用職員19人が春に続いて、秋の農家実習を行いました。この取り組みは、定植時期と収穫時期の繁忙期に実習を行い、組合員とともに農作業の苦労ややりがいを体験し、今後の業務に活かすことを目的としています。

期間中の9月2日からの5日間は天候にも恵まれ、玉ねぎや馬鈴しょの収穫作業、牛舎内作業、大コンの組み立て作業などを体験し、充実した実習となりました。

購買部の熊谷彩英職員は「春の植付作業から秋の収穫作業までの一連の作業を体験することが出来、貴重な実習となった。組合員とふれあう機会ができて嬉しい」と振り返りました。

金融共済部の金子舜職員は「選別作業をしながら農業の事を含め、たくさんお話しができてよかった。今後、農協職員として皆さんの支えになれるよう努めたい」と話してくれました。

第8回 理事会報告

9月26日、午前9時00分より第8回定例理事会が開催され、報告事項16件、決議事項4件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

①監事監査報告について
(委託製造加工食品の安心・安全及び常勤理事の法令遵守状況等)
(令和元年度販売企画部共計本精算・畜産部受託販売)

②内部監査(個人情報保護・情報セキュリティ対策、貯金・共済・総合渉外部門)報告について

③道内での不祥事件発生に伴う一斉点検結果について

④組合員状況報告について

⑤財務状況報告について

⑥人事の発令について

⑦令和2年度職員採用について

⑧JA共済コンプライアンス点検結果について

⑨理事に対する転貸リース取引に係る報告について

⑩作況調査(9月15日)報告について

⑪もち米の精算状況について

⑫R元年産共計玉ねぎ・馬鈴芋の選果販売状況について

⑬北見管内総合家畜共進会について

⑭実地棚卸の基準日変更について

⑮オホーツク農協畑作青果対策委員会海外視察研修について

⑯種子小麦の発芽について

【決議事項】

①固定資産の取得について

②規程類の制定及び改正について

③令和元年度1億円を超える信用の供与等の変更について

④令和元年度農産物に伴う理事との買取品に係る取扱基準の設定について

廃プラ回収(秋)のご案内

11月7日(木)【地区：温根湯、留辺蘂、置戸、訓子府】
8日(金)【地区：相内、上常呂、北見、端野】

受入時間：(午前)9:00~12:00
(午後)13:00~15:30

会 場：西相内小麦乾燥貯蔵施設

※同会場で農耕用廃タイヤ、ホース類【ビニール、合成ゴム含有】の回収も行います。

【お問い合わせ先】
廃プラ、ホース類： 担い手グループ (☎24-2145)
農耕用廃タイヤ： 燃料グループ (☎47-2099)

北海道(地域別) 最低賃金が改定

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイム、アルバイト等を含む)に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。農業関係の方も順守願います。

最低賃金額

時間額 861円

効力発生年月日

令和元年10月3日

※最低賃金…精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は含まれません。

期間中のお買い求めをオススメします!

JAホクレン

営農用トラック

HOKUREN TRUCK LINE-UP

取りまとめ

ISUZU HINO UD TRUCKS FUSO TOYOTA

取りまとめ期間 2019年11月30日受注分まで

お問い合わせは近隣のJAまで

JAホクレン

令和元年度 猟銃所持許可および狩猟免許試験のお知らせ

<< 猟銃取得関係 >>

① 初心者講習会(午前：講習会、午後：筆記試験)

開催日	時間	開催場所	申込先
令和元年11月17日(日) 【締切：11月7日(木)】	午前9:30より	北見市警察署 (3階303会議室) (北見市青葉町6番1号)	北見警察署1階 本部生活安全課 (☎0157-24-0110)

※ 銃の資料関係は北海道猟友会 北見支部【(☎0157-23-1440)ジャパン保険企画内】までお問い合わせください。
※ 講習手数料(6,800円の北海道収入証紙)は、受講申込時に徴収します。
※ 会場は定員の都合上、締切日前に受講申込の受付を終了することがあります。

<< 狩猟免許関係 >>

① 第1種(猟銃)およびわな猟等の狩猟免許取得に係る予備講習会

開催日	時間	開催場所	申込先
令和2年1月26日(日) 【締切：1月17日(金)】	午前9:00より	網走市呼人 コミュニティセンター (網走市字呼人344-1)	猟友会北見支部 【(☎0157-23-1440) ジャパン保険企画内】

② 第1種(猟銃)およびわな猟等の狩猟免許試験

開催日	時間	開催場所	申込先
令和2年2月2日(日) 【締切：1月20日(月)必着】	午前9:00より	オホーツク総合振興局庁舎 (網走市北7条西3丁目)	オホーツク総合振興局庁舎 (網走市北7条西3丁目)

※ 講習会・試験の詳細は猟友会北見支部【(☎0157-23-1440)ジャパン保険企画内】までお問い合わせください。

膵臓・胆のうドックのご案内

膵臓がんは発見が難しい病気です

国立がん研究センターの統計では、膵臓がんは日本人のがん死に率の第4位を占める恐ろしい病気です。膵臓は非常に深い臓器のため小さく、周囲の臓器や神経に埋まってしまうと、発見が困難な場合があります。また、膵臓がんは早期発見が難しい病気です。膵臓がんや胆のうがんや膵臓がんも膵臓がんと同様に難治性がんといわれ、早期に発見することが大切です。

膵臓・胆のう・胆管と関係した疾患の拾い上げのために適切な検査を行います。

当ドックでは、膵臓・胆のう・胆管疾患の発見に利用とされている非侵襲的な検査である画像診断、つまりエコー検査とMRI(MRCP検査)を行い、さらに腫瘍マーカーを含めた血液検査を合わせて総合的に診断し、早期がんの拾い上げを行います。

検査・診断には膵臓・胆のう・胆管疾患に精通した内科医師、診療放射線技師が行います。

当ドックエコー検査、MRI検査は膵臓・胆のう・胆管疾患に精通した放射線技師が行い、さらに超音波検査、胆のう専門の内科医師が行います。

検査の内容

- 血液検査(腫瘍マーカー含む14項目)
- 超音波検査
- MRI(MRCP)検査
- 専門医による診察・結果説明

料 金

25,000円(税別)

実施日

毎週月・火・木曜日
14:15~16:00

※都合により変更となる場合あり
※一部の結果は後日お知らせとなります
※完全予約制(1日1名)
※検査時間60分程度

心臓ペースメーカーや埋込式除細動器、人工透析装置の方は検査が受けられない可能性があります。必ず予約時にご確認ください。

ご予約・お問い合わせは
当院の受付係 健康推進課 人間ドック予約係
0158-42-4101 内線3489

超音波画像

MRCP画像

乳がん検診 マンモグラフィ+超音波検査 併用検診のご案内

乳がんは女性のがん罹患率第1位

乳がんは、女性がかかってしまうがんのうち1位となっています。乳がんは早く発見することで治りやすいがんと言われており、早く発見するためには“検診”を受けることが重要です。

超音波を併用することでがん発見率がさらに上がります!

近年、検診でマンモグラフィと超音波を同時に行うことでがんの発見率がさらに上昇するとの研究結果が出ました(40歳代のデータ)。マンモグラフィと超音波にはそれぞれ長一短がありますので、当院ではどの年代の方にも両方受けていただくことをお勧めします。両方を行うことにより、偽陽性(精密検査の必要のない病変を要精密検査としてしまうこと)などを減少させる効果があると言われています。(ご要望に応じそれぞれの単独もお選びいただけます)

精度の高いマンモグラフィ+超音波併用検診を受けましょう!

超音波検査はX線被ばくがなく、安全で、身体的苦痛がなく受けていただくことのできる検査です。当院には、学会認定のマンモグラフィ撮影認定技師や乳腺超音波認定技師が在籍しております。最終判定は乳腺の専門医が行います。ぜひこの機会にマンモグラフィ+超音波併用検診を受けてみませんか?

料 金

超音波検査：3,000円(税別)

※完全予約制(1日5名)
※検査開始:14:00~
※都合により前後する場合あり
※検査時間15分程度

ご予約・お問い合わせは
当院の受付係 健康推進課 人間ドック予約係
0158-42-4101 内線3489

超音波検査

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



9月号まちがいさがしの当選者

9月号のまちがいさがしの答えは「2、6、8、9、11」でした。正解者32名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・勝井 結捺さま (北 見)
- ・熊野 智文さま (上常呂)
- ・渡辺 香理さま (相 内)
- ・岩橋 椎奈さま (温根湯)
- ・木島 幸子さま (訓子府)
- ・仲山 陽翔さま (北 見)
- ・櫻尾 弦弥さま (端 野)
- ・藤田 稔彦さま (留辺蘂)
- ・井上 優奈さま (置 戸)
- ・石澤 キヌさま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「芳醇玉葱醤油」と「麦まるごとどん平打ち」2袋をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。
抽選で10名の方に、JAきたみらいの「大正金時と鶏肉のキーマカレー」2箱をプレゼント致します。

自 転車通学をしています。雨の日は車で送ってもらうので少しうれしいですが、「雨は困る」とお父さんたちは言っています。

(留辺蘂地区 坂下 なごみさん)

みなさんそれぞれに色々な事情がありますね! だんだんと気温が下がってくるので温かい格好で通学してください。

毎 回まちがいさがしを楽しみにしています。サヤインゲンのこと、大変参考になりました。

(上常呂地区 横井 圭子さん)

いつも読んでいただきありがとうございます。これからも役立つ情報を発信していけるよう頑張ります!

も う少して芋の収穫が終わります。お天気との戦いですが体力もかなり必要です。頑張りましょうね。

(訓子府地区 Kちゃんさん)

最後まで体調管理や農作業事故に気を付けて頑張ってください! 天候にも恵まれることを願っています。

す ごくむずがしかったけどたのしがかったです。つぎはすこしがたんなのがいいです。でももっとまちがいさがしをやりたいです。まちがいさがしいがいのもやってみたいです。

(訓子府地区 相馬 里音さん)

「まちがいさがし」たのしんでいただけてうれしいです。つぎもおまちしています! greenにはクロスワードパズルがあるので、おとうさん・おかあさんとぜひようせんしてみてくださいね☆

読者の声

VOICE



カリフラワー

～ブーケのような花野菜～

カリフラワーのナカ

カリウム
ナトリウム(塩分)を排せつする役割があり、高血圧抑制に効果が期待

ビタミンC
風邪予防や免疫カプアに効果的

食物繊維
便秘解消や肥満予防に効果的

アントシアニン
A-カロテン

どちらも活性酸素を除去する働きがあり、老化抑制や生活習慣病予防に効果的

見分け方

つぼみが締まっていて堅い

白い品種は黒ずみや褐色がなく、真っ白なほど良品

周りの葉が鮮やかな緑色でピンとしている

切開口に空洞や変色がない

持ったときにずしりと重みを感じる

軸の切開口がみずみずしく新鮮

保存方法

冷蔵保存
野菜庫を立てて保存!

ポリ袋に入れるかラップで包んで乾燥を防ぐ

軽く湿らせたキッチンペーパーを茎に巻けば万全

冷凍保存
硬めに下ゆでしてから冷凍の下ゆで後は水気をしっかり切り、冷めてから一気に入れると、食感の劣化が防げる

使用
硬ゆで後は小分けにしてラップに包むか保存袋に入れて保存すると活用しやすい

解凍
自然解凍または電子レンジで煮物など汁物に使う場合は凍ったまま使用でもOK

カリフラワーのいろいろ

カリフラワー
一般的な白色またはクリーム色のもの。大きさは10～15cm程度。花蕾(からり)の部分がつしりと詰まって、二んもりと丸みがある

紫カリフラワー
花蕾が紫色の品種により特性はさまざまだが、紫色の色素成分を持つことは共通

ロマネスコ
イタリア原産の品種の花蕾は黄緑色で、円すい形の規則正しい並列独特な形

オレンジカリフラワー
花蕾が淡いオレンジ色の優しい甘味があり、見た目の華やかでゆでると色が映えて鮮やかに

カリフラワーのビミツ

グロウリーの突然変異ともいわれる!

別名:花甘藍。アブラナ科のキャベツ(甘藍)とも仲間だよ

16～19世紀に欧州で普及。19世紀に米国やアジアにも伝わる

日本明治の初めに伝来。食文化が変化した戦後には全国に普及



白身魚の揚げだし菊花あん



◆ 材料 (2人分) ◆

白身魚 (マダイなど) ……100g (2切れ)
 塩 ……適宜
 打ち粉用片栗粉 ……大さじ1
 蒸し栗 ……5粒
 シメジ ……1パック
 ミニトマト ……3個
 食用菊 ……適宜
 サラダ油 ……適宜
 水溶き片栗粉 ……大さじ1
合わせだし汁
 かつおだし ……1カップ
 薄口しょうゆ ……大さじ1
 みりん ……大さじ1

◆ 作り方 ◆

- ① 白身魚の切り身に塩を振り1時間ほど置く。
- ② 鍋に**合わせだし汁**の材料を入れて沸かし、ばらしたシメジ、酢水 (材料外) でしっかりゆでた食用菊、四つ切りにしたミニトマトを入れ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ③ ①に打ち粉をし、蒸し栗は砕いておく。フライパンにサラダ油を入れ180度まで熱し、白身魚と蒸し栗を別々に揚げる。
- ④ 揚げた白身魚を器に盛り、②を回し掛け、揚げた栗を散らし、彩りでディルなど (材料外) を添える。

スペアリブの煮込み



◆ 材料 (2人分) ◆

スペアリブ ……4~5本
 皮付きショウガ ……1片
 ゴボウ ……1本
 下ゆでした小松菜 ……1束
 塩 ……適宜
煮汁
 水 ……900ml
 しょうゆ ……200ml
 みりん ……100ml
 料理酒 ……100ml
 砂糖 ……100g

◆ 作り方 ◆

- ① スペアリブに当て塩をしてビニール袋に入れ1晩置く。
- ② 鍋に①を入れ水から軟らかくなるまで下ゆでする。
- ③ 別の鍋に**煮汁**を合わせ、②と薄切りにした皮付きショウガ、食べやすい長さに切ったゴボウを入れ、強火で15分程度煮る。
- ④ 器にスペアリブ、ゴボウ、食べやすい大きさに切った小松菜を盛り付け、煮汁を回し掛け出来上がり。

✿ 献立を監修した人 ✿ 茨城県笠間市にある「キッチン晴人 (ハレジン)」オーナーシェフ 永井 智一 (ながいともかず)

編集後記

- ・朝夕の冷え込みが厳しくなり、体調を崩しやすい時期になってきました。農作業や外出の際は温度調節のできる格好をするなど体を気遣ってあげてください!
- ・先月は比較的天候に恵まれ、収穫がスムーズに進んだのではないのでしょうか。今後もビートや大豆などの収穫も無事終わられるよう願っています。
- ・10月号では地域だよりとして各地域のイベントを紹介しています。お忙しい時期ですが息抜きにご覧ください。そして来年は是非イベントに参加してみてもはいかがでしょうか (芋毛 鈴奈)

JAきたみらい概要

(令和1年9月17日現在)

- ・組合員数 (正) 1,655人
- ・組合員数 (准) 6,329人
- ・組合員戸数 (正) 979戸
- ・貯金 110,389百万円
- ・貸出金 13,321百万円
- ・出資金 4,855百万円